

報告事項 1.

平成24年度 事業報告

【公益目的事業】

1. 調査・研究事業の推進

1-1 調査・研究

石油及び周辺エネルギーに関する科学技術の一層の発展，石油・エネルギーの安定供給及び地球環境の保全を図るため，部会活動を中心に調査・研究を行った。

1-1-1 部会活動

(1) 製品部会

- 1) ガソリン分科会で第38回CFRオクタン価照合試験を行った。
- 2) アスファルト分科会で舗装用アスファルトの品質基準の検討を行った。
- 3) 絶縁油分科会で以下の活動を行った。
 - a) 絶縁油関連の文献を調査し，最新情報の共有化を図った。
 - b) 各種エステル系絶縁油の実用性能に関して調査を行った。
 - c) 新しい硫化腐食の実態調査を行った。
 - d) 平成25年1月11日(金)に北海道電力(株)苗穂変電所の見学会を実施した。
- 4) 試験分析分科会で以下の活動を行った。
 - a) XRF試験法による添加元素，塩素分及び硫黄分の分析法の検討を行った。
 - b) 灯油中のDTBP分の分析法の検討を行った。
 - c) 標準試料委員会からの依頼を受け，放射線式励起法による軽油の硫黄分の分析法の検討を行った。
 - d) 石油製品中の金属分試験方法の検討を行った。
 - e) 平成25年3月1日(金)に(株)東レリサーチセンターの見学会を実施した。

(2) 装置部会・装置委員会

- 1) 機器分科会では，「潤滑油再生補修技術」調査の取りまとめを行った。
- 2) 配管分科会では，石油，石油化学等工業用材料及び装置に関わるISO委員会への学会対応について，ISO事務局にコメントを提出した。
- 3) 設備保全分科会では，他学協会の動向調査及び設備管理技術の発表，製油所における事例紹介などを行った。その一部を以下に記載する。
 - *他学協会の動向調査（最近発行された国内外の主な維持管理規格）
 - *設備管理技術の発表（非破壊検査による水素浸食の診断技術/漏洩率に基づく新しいフランジ設計法について）
 - *リフォーマーガスボイラー出口チャンネル底部減肉事例
 - *水添脱硫装置ストリッパーボトム配管付きノズルの減肉事例
 - *原油配管の腐食・減肉について
 - *FCC再生塔ヘックスメッシュの高温劣化
 - *製油所におけるトラブル事例（4件）
- 4) 計装分科会では，石油会社各社に「震災対応事例と考察～災害に強い製油所をつくる」に関しアンケート調査を実施し，結果を第29回計装研究討論会で報告した。
- 5) 電気分科会では，平成24年7月18日(水)に発電機に関する勉強会を，平成24年11月7日(水)～8日(木)に電機，製鉄及び飲料関連の施設研修会を行った。WG1では，「電力系統連系技術の高度化研究」及び「瞬低による影響と対応」に関する調査を実施し，電気研究討論会で成果を報告した。

WG2では、電気維持規格関連フォローアップ、トラブル事例収集及びその他調査研究を実施した。

6) 保安分科会では、石油業界における環境、安全に関する課題について検討した。

(3) 経営情報部会

下記の2WGを設置し、調査・検討を行った。

「20年後の日本のエネルギー需給構造～シナリオプランニングによる未来予想図～」

「石油・石油化学産業における情報系・制御系システムのセキュリティに関する調査・研究」

(4) 新エネルギー部会

次世代バイオ燃料油分科会では、平成24年11月8日(木)に(独)産業技術総合研究所及び(株)DINS堺の見学会を実施した。

1-1-2 受託、参加事業

(1) (一財)石油エネルギー技術センターが実施する重質油等高度対応処理技術開発事業のうち、「新規要素技術の調査」を受託し、実施した。

(2) (一財)国際石油交流センターが実施する「産油国等石油精製・利用技術国際共同研究事業」のうち、①産油国研究者の受入事業、②産油国連携合同セミナー事業に参加し、調査・研究を実施した。

1-2 成果公開・普及

前述の部会、委員会活動や受託事業で得られた調査・研究の成果並びに創立以来蓄積された石油及び周辺エネルギーに関する知見を様々な形で広く公開した。石油及びエネルギーに関する情報の普及に努めることで、国民がこの分野に関心を持ち、石油資源の現状とその有効利用に対する理解を深めること、本分野の研究者・技術者のすそ野が拡大することを目指した。

1-2-1 会誌（一般誌）

(1) 会誌（「ペトロテック」月刊）を発行し、会員に配布したほか、一部外部に頒布した。

1) 各月の主な内容は次表のとおりである。

	24年									25年			合計 件数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
時評	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
座談会	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	1	10
一般総説・資料	7	7	7	7	8	8	8	8	8	10	9	6	93
単位の話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
海外事業所紹介	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	5
在外研究MAP	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
全国事業所紹介	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	4
私事白書	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
Debutant	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	6
辛口放談	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
石油燃焼機器	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
英語酒飲み話2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
JPIJSだより	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	10
ふるさと自慢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
趣味談議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
今月の一口メモ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
環境豆知識	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
新技術紹介	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5
新刊紹介・書評	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	1	6

ペトロぷらざ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
統計	1	1	1	1	1	1	12	1	1	1	1	1	23
全頁数	76	70	74	76	74	80	80	80	79	80	84	78	931

2) 上記以外の特集記事を以下のとおり掲載した。

- *平成24年6月号「CO₂の化学的利用法の未来」(小特集)
- *平成24年10月号「バイオプラスチックの現状と今後の展望」
- *平成24年12月号「水銀除去技術における最新動向」
- *平成25年1月号「レアメタル代替・低減に関する技術開発」
- *平成25年2月号「炭素繊維に関する技術開発の現状」

3) その他毎月、国内・海外の最近のニュース、解説記事、学会活動を報告する「学会の窓」を掲載した。また、吊辞、トピックス、論文誌掲載論文要旨などを適宜掲載した。

1-2-2 広報

(1) 講演会、研究発表会等の学会活動を報道各社に紹介した。

(2) 学会行事や学会活動の成果を随時ホームページにて紹介した。ホームページコンテンツの一層の充実を図るとともに、会員を始めとするWeb閲覧者のサービス向上の一環として「ペトロテック」の過去掲載記事の検索・閲覧サービス実施のため、過去記事の電子化を進めた。

1-2-3 講演会等(移動大学、支部講演会、JPIJS講演会、部会講演会)

(1) 多くの方々に石油に関する理解や興味を深めてもらうため、大学生(院生を含む)や一般市民を対象として、移動大学「石油関連セミナー」を石油連盟の支援のもとに実施した。平成24年度は23大学・機関において講義数67コマを、また、さいたま市では市民講座を実施した。本年度の聴講延べ人数は約4,200人であった。開始した平成9年度からの累計は総コマ数888コマ、聴講延べ人数約75,700人に達している。

(2) 支部講演会等

[北海道支部]

- 1) 平成24年8月4日(土)に学協会北海道支部合同夏季研究発表会を共催した(旭川市)。
- 2) 平成24年10月26日(金)に第5回実践的石油学講習を企画し、実施した(苫小牧市)。
- 3) 平成24年12月7日(金)に触媒学会北海道支部札幌講演会を共催した(札幌市)。
- 4) 平成25年1月29日(火)、30日(水)に化学系学協会北海道支部合同冬季研究発表会を共催した(札幌市)。

[東北支部]

- 1) 平成24年10月11日(木)~13日(土)に開催された秋田大会(第42回石油・石油化学討論会)では実行委員会を組織し、準備・運営に協力した。
- 2) 平成24年12月11日(火)に緊急セミナー「生活に関わるエネルギー講話」を企画し、実施した(仙台市)。

[東海支部]

- 1) 平成24年8月下旬に、東海地区の石油精製会社及び石油化学会社の4製油所・事業所にて東海地区大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。東海地区の6大学から8名の学生が参加した。また、平成24年9月13日(木)にインターンシップ研修報告会を企画し、実施した(名古屋市)。
- 2) 平成24年9月13日(木)に第1回東海支部講演会を企画し、実施した(名古屋市)。
- 3) 平成24年9月20日(木)、21日(金)に信州大学にてPro II集中講義の企画、実施に協力した。

[関西支部]

- 1) 平成24年5月30日(水)に川崎重工業(株)神戸工場にて企業見学会を実施した。
- 2) 平成24年9月28日(金)にコスモ石油(株)堺製油所にて第20回学生企業見学会を実施した。

- 3) 平成24年10月19日(金)に第19回関西支部セミナーを日本エネルギー学会関西支部と共催した(大阪市)。
- 4) 平成24年12月7日(金)に第21回関西支部研究発表会を日本エネルギー学会関西支部と共催した(大阪市)。同日、関西支部設立20周年事業として特別講演を1件企画し、実施した。

[中国・四国支部]

- 1) 平成24年11月30日(金)に第31回中国・四国支部講演会を企画し、実施した(徳島市)。
- 2) 平成25年1月18日(金)に第17回中国・四国支部技術交流会を企画し、実施した(周南市)。
- 3) 平成24年8月に中国・四国地区の3製油所・事業所にて学部・大学院生を対象に行われたインターンシップ事業に協力した。中国・四国地区の3大学から6名の学生が参加した。

[九州・沖縄支部]

- 1) 平成24年6月15日(金)に第24回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(大分市)。
- 2) 平成24年9月7日(水)に第25回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(鹿児島市)。
- 3) 平成24年10月19日(金)に第26回九州・沖縄支部講演会を企画し、実施した(北九州市)。
- 4) 平成25年度秋季大会(北九州大会)開催に向け、準備を開始した。

(3) JPIJS講演会

- 1) 平成24年5月25日(金)に開催の第61回研究発表会に併せて、第17回若手研究者のためのポスターセッションを開催した。34件の発表があり、最優秀ポスター賞を1件、優秀ポスター賞を2件選定し、表彰した。
- 2) 平成24年10月11日(木)、12日(金)に開催の秋田大会(第42回石油・石油化学討論会)において、下記2件の依頼講演を企画した。
 - 「石油製品のトラブルと分析」(日本海事検定協会 藤井 健二氏)
 - 「日本キッチンにおける水素化脱硫技術開発」(日本キッチン 森元 大貴氏)
- 3) ペトロテック各号に「JPIJS だより」として行事報告等を掲載した。
- 4) その他、全国においての活動は次のとおりである。

[北海道・東北地区]

- ・平成24年8月6日(月)、7日(火)に第52回オーロラセミナーを触媒学会と共催した(中川郡)。
- ・平成24年7月20日(金)に精製部会プロセス分科会協力のもと、北海道・東北地区討論会「石油業界の役割と若手エンジニアの未来像」を開催した(札幌市)。
- ・平成25年1月25日(金)に北海道・東北地区講演会を開催した(札幌市)。

[関西地区]

- ・平成24年7月27日(金)、28日(土)にコロキウム2012を日本エネルギー学会関西支部、石油学会関西支部と共催した(芦屋市)。また、SPRING-8、(株)IHI相生工場にて見学会を実施した。

[九州地区]

- ・平成24年6月15日(金)に「第24回石油学会九州・沖縄支部講演会」を石油学会九州・沖縄支部、大分大学全学研究推進機構と共催した(大分市)。
- ・平成24年8月5日(日)に大分大学で開催の「夏休み子どもサイエンス2012」を大分大学、大分県理科・化学教育懇談会、日本化学会九州支部科学教育協議会と共催した。

(4) 部会講演会

[資源部会]

- 1) 平成24年7月19日(木)に資源講演会「最近のエネルギー需給構造の変化と化石燃料、特にガス資源の今」を企画し、実施した。
- 2) 平成24年10月11日(木)、12日(金)に開催の秋田大会(第42回石油・石油化学討論会)において「石油・天然ガス開発」のセッションを企画し、協力した。

[精製部会]

- 1) 平成24年7月20日(金)に開催したJPIJS北海道・東北地区討論会の実施に協力した。

- 2) 平成24年10月4日(木), 5日(金)に26th JPI Petroleum Refining Conferenceを企画し, 実施した。
- 3) 平成25年1月18日(金)に第38回精製パネル討論会を企画し, 実施した。
- 4) 第37回精製パネル討論会会議録〔平成24年1月20日(金)開催〕を平成24年5月に発行した。

[石油化学部会]

- 1) 平成24年10月11日(木), 12日(金)に開催の秋田大会(第42回石油・石油化学討論会)において「脱硫・脱窒素」「石油化学」「水素化・脱水素」「酸化」「ポリマー・オリゴマー」「ファイネケミカルズ」「C1化学」「バイオケミストリー」「キャラクタリゼーション」「機能性材料」「環境触媒」「グリーンプロセス」のセッションを企画し, 協力した。
- 2) 平成24年11月6日(火)に第20回触媒シンポジウム「水に係わる触媒化学」を企画し, 実施した。

[製品部会]

- 1) 平成24年11月29日(木), 30日(金)に2012石油製品討論会「エネルギー有効活用・石油高度利用に向けた製品開発と分析評価技術の動向」を企画し, 実施した。
- 2) 絶縁油分科会では, 平成24年6月15日(金)に第32回絶縁油分科会研究発表会を企画し, 実施した。

[装置部会-装置委員会]

- 1) 平成24年12月6日(木), 7日(金)に第43回装置研究討論会「設備の信頼性向上と技術の伝承」を企画し, 実施した。
- 2) 機器分科会では, 「初級者向け教育講座」を企画し, 平成25年2月20日(水)~22日(金)に第1回実習付教育講座を開催した。
- 3) 機器分科会 回転機専門委員会では, 平成24年10月17日(水)に第12回 回転機研究討論会を企画し, 実施した。
- 4) 計装分科会では, 平成25年3月6日(水)に第29回計装研究討論会を企画し, 実施した。また, 若手技術者を対象とした若手会・勉強会を2回開催した。第1回は平成24年9月14日(金)に「ターボマシナリの制御」について, 第2回は平成25年2月21日(木)に「工業用無線技術のいま・これから」をテーマに行った。
- 5) 電気分科会では, 平成25年3月7日(木)に第13回電気研究討論会「震災後のエネルギー安定供給と現場技術者の育成」を企画し, 実施した。

1-2-4 規格の制定・普及

[装置部会]

(1) 装置委員会

- 1) 機器分科会関係の規格類の見直しを実施した。
 - * 7R-51-91 [空冷式熱交換器の構造] 見直し。
 - * 7R-52-96 [横置容器サドル周り強度計算] 見直し。
 - * 7R-71-96 [縦型容器用レグ] 平成24年8月13日に改訂。
 - * 7S-13-71 [塔そう類内径基準寸法] 見直し。
 - * 7S-27-07 [炭素鋼製ノズル] 見直し。
 - * 7S-29-97 [塔そう類腐れ代基準] 見直し。
 - * 7S-30-64 [多管式熱交換器チューブ配列本数表] 見直し。
 - * 7S-35-04 [スカートを有する塔そう類の強度計算] 見直し。
 - * 7S-44-73 [石油工業用熱交換器フランジ] 見直し。
- 2) 配管基準専門委員会 (3WG), バルブ専門委員会 (3WG), フランジ専門委員会, ガスケット専門委員会, 管及び管継手専門委員会を配管分科会の下部組織とし, 次の規格の改訂, 見直しを実施した。
 - * 7S-14-97 [石油工業配管用アーク溶接鋼管] 見直し。
 - * 7S-18-97 [配管用モルタルライニング] 見直し。
 - * 7S-24-00 [バルブの表示方式] 見直し。

- * JPI-7S-36-07 [鋼製小形弁] , JPI-7S-57-07 [軽量形鋼製小形弁 (50A {2B} 以下) (クラス150~800)] , JPI-7S-82-07 [鋼製小形高圧弁] 3規格の統合検討・見直し。
- * 7S-43-08 [石油工業用大口径フランジ] 見直し。
- * 7S-67-06 [石油工業用バルブの基盤規格] 見直し。
- * 7S-75-98 [配管用PTFE被覆ガスケット及びPTFEソリッドガスケット] 見直し。
- * 7S-77-10 [石油工業用プラントの配管基準] 見直し。
- * 7S-84-96 [石油工業用鋼製ボス、ブランチアウトレット及びプラグ] 見直し。
- * 7S-90-02 [管の曲げ加工法] 見直し。

3) 計装分科会では、7S-54-97 [アーマード形 (鎧装形) ゲージガラス規格] , 7R-61-96 [ゲージガラス使用指針] , 7R-87-99 [金属管式液面計使用指針] の見直しを行っている。

(2) 設備維持規格委員会

配管・設備維持規格合同分科会、回転機維持規格分科会、電気維持規格分科会、計装維持規格分科会、屋外タンク維持規格分科会を下部組織とし、次の規格類の改訂及び追補の公開を実施した。

- * 8S-1-07 [配管維持規格] 平成24年8月22日に改訂。
- * 8S-5-09 [計装設備維持規格] 平成24年10月5日に改訂。
- * 8R-14-07 [耐圧気密試験] 平成24年8月22日に改訂。
- * 8R-15-08 [フランジ・ボルト締付管理] 見直し。
- * 8S-1-12 [配管維持規格] 平成24年11月27日に追補を公開。
- * 8S-2-09 [設備維持規格] 平成24年11月27日に追補を公開。
- * 8S-4-10 [電気設備維持規格] 平成24年10月29日に追補を公開。
- * 8S-6-10 [屋外貯蔵タンク維持規格] 平成25年2月20日に追補を公開。
- * 8R-11-09 [防食管理] 平成24年12月11日に追補を公開。

1-2-5 設備維持管理士の資格付与

設備維持管理士認定委員会において設備維持規格の内容に関する試験を行い、合格者に設備維持管理士の資格を付与した。また、規格内容に関する一般向け維持規格講習会及び管理士資格者を対象とした更新講習会を開催した。

- (1) 平成25年1月9日(水)に東京で、電気設備維持規格講習会、及び電気設備維持管理士更新講習会を実施した。
- (2) 平成25年1月10日(木)に東京で、計装設備維持規格講習会、及び計装設備維持管理士更新講習会を実施した。
- (3) 平成25年1月15日(火)に東京で、回転機維持規格講習会、及び回転機維持管理士更新講習会を実施した。
- (4) 平成25年1月18日(金)に東京で、平成25年1月21日(月)に大阪で、配管・設備維持規格講習会を実施した。
- (5) 平成25年2月17日(日)に東京及び大阪で、設備維持管理士認定試験を実施した。その結果、配管・設備維持管理士として68名(受験者数160名)、回転機維持管理士として30名(受験者数42名)、電気設備維持管理士として10名(受験者数21名)、計装設備維持管理士として7名(受験者数29名)をそれぞれ認定した。
- (6) 平成25年2月22日(金)に東京で、平成25年2月25日(月)に大阪で、配管・設備維持管理士更新講習会を実施した。
- (7) 設備維持管理士更新講習会は平成15年度、平成19年度及び平成20年度認定者が対象で、各講習会終了後ただちに認定証の更新手続きを行った。その結果、配管・設備：110名、回転機：10名、電気設備：14名、計装設備：37名をそれぞれ更新認定した。

2. 研究・技術開発の支援

2-1 研究発表会, 石油・石油化学討論会, 論文誌刊行

石油及びその周辺エネルギー分野における研究, 技術開発の一層の推進を図るため, 研究者や技術者の成果発表や情報交換の場として, 研究発表会及び石油・石油化学討論会を開催した。さらにこれらの成果を論文誌として刊行・公開した。

- (1) 平成24年5月25日(金)に東京で「第61回研究発表会」を開催した。
- (2) 平成24年10月11日(木)～13日(土)に秋田で秋田大会(第42回石油・石油化学討論会)を開催した。
- (3) 論文誌「Journal of the Japan Petroleum Institute」(隔月刊)を発行し, 維持会員(408部), 公共会員(21部)及び普通会員・学生会員の購読希望者(258部)に配布したほか, 外部に各号43部を頒布した。また国内に44部, 海外に66部を寄贈した(平成25年3月末現在)。平成24年度の掲載内容は次表のとおりである。J-Stage上では本誌オンラインジャーナルを第56巻2号までを公開している(平成25年5月1日現在)。過去1年間の論文ダウンロード件数は約40,000件(うち海外は約28,000件)となっている。

巻数	55巻				56巻		合計
号数	3	4	5	6	1	2	6
総合論文	3	2	2	1	2	2	12
一般論文	4	5	6	2	3	2	22
ノート	—	—	—	1	1	1	3
技術報告	—	—	—	—	—	—	0
レター	1	—	—	1	1	2	5
投書	1	—	—	—	—	—	1
件数合計	9	7	8	5	7	7	43
全頁数	69	58	71	33	59	47	337

2-2 研究助成

平成25年度の助成金交付は下記のとおり, 若手研究者3名に決定した。

- (1) 「マクロ・マイクロ摩擦の一貫評価に基づく直鎖アルキル分子鎖を有するZnDTPトライボフィルムの低摩擦発現機構の解明」(助成額 65万円)
東京工業大学 助教 青木 才子 氏
- (2) 「ナノチューブ構造を有した固体酸触媒の合成と応用」(助成額 65万円)
東京工業大学 准教授 北野 政明 氏
- (3) 「高温高压水によるコーク前駆体の分散・抽出効果と水性ガスシフト反応による水素供与を利用した重質油のコークレス改質プロセスの開発」(助成額 65万円)
宇都宮大学 准教授 佐藤 剛史 氏

2-3 表彰

石油学会表彰規程, 野口記念賞表彰規程, 並びに国際表彰規程により, 学会賞1件, 論文賞1件, 奨励賞3件, 功労賞5件, 野口記念奨励賞1件の授賞を決定した。

【収益事業】

1. 受託事業

- (1) 製品部会ガソリン分科会において, (株)石油産業技術研究所から「新しいオクタン価要求値調査方法の検討とオクタン価が既販車に及ぼす影響調査」について受託し, 調査・試験を実施した。
- (2) 製品部会燃料油分科会において, (株)石油産業技術研究所から「ディーゼル車の燃料供給システム調査」について受託し, 調査・試験を実施した。

2. 図書及び標準試料認定・販売事業

2-1 図書販売

(1) 石油及び周辺エネルギー分野の啓発及び技術の発展を目的に販売している以下の図書について、出版社より販売部数に応じて販売手数料を得た。

「石油精製プロセス」, 「石油化学プロセス」, 「石油辞典」, 「石油がわかれば世界が読める」

(2) 「石油精製プロセス」(1998年刊行)については、平成25年12月の改訂版刊行に向けた作業を開始した。

2-2 標準試料認定・販売

平成24年度の認定数(販売数)は次のとおりである。硫黄分(1,758), 窒素分(241), ニッケル・バナジウム分(43), FIA用(13), 軽油硫黄分(525), 標準ガソリン(92), 引火点(1,059), 総計は3,731であった。

【共益事業】

1. 溶接士の認定事業

平成20年6月から(一社)日本溶接協会にJPI規格4種の免許証発行業務を移管している。平成24年度の認定者数は820名で、現在までの累計認定者数は136,830名である。

2. 会員交流事業

(1) 製品部会潤滑油分科会では、JPI-5S-25-08 [ガソリンエンジンワニス評価法] を関連の業界技術者に普及するため、平成24年11月16日(金)に第39回レイティングシンポジウムを開催した。

(2) 下記のとおり、講演会等の開催に併せて参加者の交流を目的に懇親会を開催した。

1) 平成24年5月24日(木)に第55回年会懇親会を開催した。

2) 平成24年10月11日(木)に秋田大会懇親会を開催した。

【法人管理】

1. 庶務事項

(1) 役員の登記手続き

平成24年5月24日就任の新役員の登記手続きは6月に終了した。

(2) 本会事務所の移転

平成24年6月4日に下記に移転した。

東京都千代田区神田須田町1-8-4 陽友神田ビル

2. 法人運営

(1) 法人管理・運営にあたり、以下の会議を開催した。

理事会(4回), 運営会議(5回), 顧問会(1回), 事業推進会議(1回), 役員等候補者選定委員会(2回), 財務委員会(1回), 職員人事委員会(3回)

(2) 部会活動検討委員会

部会活動のさらなる活性化を図るため、各部会からの代表及び関係する運営会議委員が参加する部会活動検討委員会を組織して活動し、検討結果を理事会に報告した。

(3) 他学協会、その他の団体から事業の共催、協賛などの依頼を受けて積極的に協力した。

【会員数の状況】

平成24年度末（平成25年3月31日）と前年度末の会員数の比較は次表のとおりである。

項目 会員別	平成24年 3月31日現在	平成24年度会員数の増減			平成25年 3月31日現在
		増	減	増または減	
名誉会員	31	2	1	1	32
普通会員	3044	124	203	△79	2965
学生会員	176	77	64	13	189
小計	3251	203	268	△65	3186
維持会員					
1級	17	0	0	0	17
2級	8	0	0	0	8
3級	36	0	2	△2	34
4級	23	0	1	△1	22
5級	178	2	4	△2	176
小計	262	2	7	△5	257
公共会員	22	0	1	△1	21
総合計	3535	205	276	△71	3464

【委員会・部会の会合数】

平成24年度の会合数は次表のとおりである。

会 合 名	数	会 合 名	数
通常総会	1	資源部会	3
事業推進会議	1	精製部会	14
理事会	4	石油化学部会	3
顧問会	1	製品部会	5
運営会議	5	ガソリン分科会	27
財務委員会	1	燃料油分科会	11
役員等候補者選定委員会	2	潤滑油分科会	8
研究助成委員会	1	絶縁油分科会	19
職員人事委員会	3	アスファルト分科会	5
支部長会議	1	試験分析分科会	15
広報委員会	2	装置部会	3
刊行委員会	0	設備維持規格委員会（分科会含む）	44
石油精製プロセス編集委員会	5	装置委員会	3
ペトロテック編集委員会	11	機器分科会	10
Working Group 委員会	55	配管分科会	8
論文誌編集委員会	7	設備保全分科会	8
研究・技術企画委員会	3	計装分科会	14
国際委員会	1	電気分科会	5
海外協力分科会	4	保安分科会	3
表彰委員会	2	経営情報部会	22
表彰推薦委員会	1	新エネルギー部会	2
表彰選考委員会	5	次世代バイオ燃料分科会	4
教育委員会	3	溶接士検定委員会	1
受託事業委員会	3	標準試料委員会	6
ペトロリオミクス調査分科会	10	設備維持管理士認定委員会	34
部会活動検討委員会	3		
		合 計	412

【講演会，討論会，研究発表会並びに見学会等の実施】

月	日	曜	名 称	開催地	講演数	参加者数
平成24年						
5	24	木	第53回通常総会，第55回年会－受賞講演，特別講演	東京	7	242
	25	金	受賞講演，第61回研究発表会， 第17回JPIJSポスターセッション		51 34	
6	15	金	第32回絶縁油分科会研究発表会	京都	11	128
7	19	木	資源講演会「最近のエネルギー需給構造の変化と化石燃料，特にガス資源の今」	千葉	9	56
10	4 5	木 金	26th JPI Petroleum Refining Conference “Recent Progress in Petroleum Process Technology”	東京	14	116
10	11 12	木 金	秋田大会－特別講演，第42回石油・石油化学討論会， 研究発表ポスターセッション， 日本科学連合企画講演，地域貢献フォーラム －見学会	秋田	180 21	400
	13	土			11	
10	17	水	第12回 回転機研究討論会	東京	7	210
11	6	火	第20回触媒シンポジウム「水に係わる触媒化学」	東京	4	66
11	25 26	日 月	第22回日本－サウジアラビア合同セミナー	ダハラン	6	130
11	29 30	木 金	2012石油製品討論会「エネルギー有効活用・石油高度利用に向けた製品開発と分析評価技術の動向」	東京	17	118
12	6 7	木 金	第43回装置研究討論会 「設備の信頼性向上と技術の伝承」	東京	11	121
平成25年						
1	9	水	設備維持規格講習会（電気設備）	東京	－	6
1	9	水	設備維持管理士更新講習会（電気設備）	東京	－	14
1	10	木	設備維持規格講習会（計装設備）	東京	－	6
1	10	木	設備維持管理士更新講習会（計装設備）	東京	－	37
1	15	火	設備維持規格講習会（回転機）	東京	－	18
1	15	火	設備維持管理士更新講習会（回転機）	東京	－	10
1	15 16	火 水	第14回日本－クウェート合同セミナー	アハマ ディ	5	70
1	18	金	第38回精製パネル討論会	東京	3	152
1	18	金	設備維持規格講習会（配管・設備）	東京	－	37
1	21	月	設備維持規格講習会（配管・設備）	大阪	－	25
2	17	日	2012年度設備維持管理士認定試験 （配管・設備，回転機，電気設備，計装設備）	東京	－	145
				大阪	－	107
2	22	金	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	東京	－	56
2	25	月	設備維持管理士更新講習会（配管・設備）	大阪	－	54
3	6	水	第29回計装研究討論会	東京	6	115
3	7	木	第13回電気研究討論会「震災後のエネルギー安定供給と現場技術者の育成」	東京	5	88

以上